



日本



米国



ユーロ圏



カナダ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

債券・為替ウィークリーレポート (先進国・新興国)



ブラジル



南アフリカ



インドネシア



インド
















メキシコ



トルコ







中国

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/6 （12/30との比較）	1/6 （12/30との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
日本 	A+	0.06% （+0.01）	/	+1.1% 2016年3Q	-	10年国債入札が比較的堅調な結果となる中、国債利回りは小幅上昇。昨年後半からの国内株上昇に一服感が出る中、日銀の国債買い入れ継続による堅調な需給環境が持続しているとみられる。	貿易収支や景気ウォッチャー調査などの発表が予定される中、トランプ次期米大統領の記者会見などを受けた海外市場が注目される。30年国債入札が予定されるが、引き続き国債利回りは大きく動きにくいと予想される。
	A1	 金利横ばい		 景気安定	-		
米国 	AA+	2.42% （▲0.02）	117.02円 （+0.05%）	+1.7% 2016年3Q	0.75%	非農業部門雇用者数が市場予想を下回る一方、ISM製造業景況指数が改善。トランプ次期米大統領の、自動車産業への一連のコメントが保護主義的であると懸念される中、国債利回りは小幅低下。米ドルは対円で上昇。	トランプ次期米大統領の記者会見が11日に予定され、20日の就任に向けて政策動向が特に注目される。財政収支や小売売上高などの経済指標の発表や、金融政策関係者の講演などが予定される。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ユーロ圏 （*） 	AAA	0.30% （+0.09）	123.25円 （+0.23%）	+1.7% 2016年3Q	0.00%	ユーロ圏のPMIとCPIが予想を上回る内容となる中、ドイツの国債利回りは上昇。ユーロは対円で上昇。	ユーロ圏の鉱工業生産とECB（欧州中央銀行）議事要旨の発表が予定されるが、米国次期政権の政策動向を受けた海外市場動向に影響を受けるものと予想される。英国のEU（欧州連合）離脱に関する動きなどにも注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示（*ユーロ圏についてはドイツの同格付を表示）。※2 10年国債利回りを表示（*ユーロ圏はドイツ国債利回り）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、米国：フェデラルファンド金利、ユーロ：主要リファイナンス金利を表示、日本は金融政策の目標が無担保コール翌日物からマネタリーベースに変更されたため非表示。



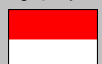

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/6 （12/30との比較）	1/6 （12/30との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.73% （+0.01）	88.40円 （+1.59%）	+1.3% 2016年3Q	0.50%	国際商品貿易と雇用者数が市場予想を上回る内容となり、景気回復への期待が強まる中、国債利回りは小幅上昇。原油価格が堅調に推移する中、カナダドルは対円で上昇。	住宅着工件数や中古住宅販売件数の発表が予定され、引き続き景気回復度合いを探る環境。米国ではトランプ次期米大統領の記者会見が予定され、その政策動向を受けた海外市場が注目される。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気停滞	↓ 利下げ局面		
オーストラリア 	AAA	2.68% （▲0.08）	85.41円 （+1.42%）	+1.8% 2016年3Q	1.50%	11月の貿易収支が、商品市況の回復などを背景に約3年ぶりとなる黒字に。国債利回りは低下。オーストラリアドルは対円で上昇。	小売売上高などの発表を予定。引き続き現行の金融政策維持が想定される中、トランプ次期米大統領の記者会見などの政策動向や、中国の経済指標などをを受けた海外市場が注目される。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	↓ 利下げ局面		
ニュージーランド 	AA+	3.19% （▲0.14）	81.48円 （+0.62%）	+3.5% 2016年3Q	1.75%	3日に実施された酪農品入札の落札価格は、前回から下落するも依然高水準を維持。その他主だった経済指標の発表は無し。ニュージーランドドルは対円で上昇。米国債市場の影響を受けて、国債利回りは低下。	クレジットカード支出額や住宅価格指数、商品価格指数などの発表を予定。総じて堅調な内容が継続する見込みだが、一部調査でオークランドの住宅価格下落が報告されているため、住宅市場動向にも注目。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	↓ 利下げ局面		
ノルウェー 	AAA	1.61% （▲0.04）	13.69円 （+0.86%）	-0.9% 2016年3Q	0.50%	製造業PMIは景気の境目とされる50を超える水準に上昇。一方で鉱工業生産のマイナス幅が拡大。堅調な原油価格動向を受けて、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは低下。	インフレ統計の発表を予定。食品・エネルギー価格の上昇を受けて、インフレ率も前回より上昇する見込みながら、継続的ではないと予想。金融市場の動きを占う上で、減産の実施状況を受けた原油市況に注目。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1か月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。













※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国 (地域)	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/6 (12/30との比較)	1/6 (12/30との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
ブラジル 	BB	11.19% (▲0.09)	36.31円 (+1.04%)	-2.9% 2016年3Q	13.75%	鉱工業生産は市場予想を下回り、景気低迷継続を示唆。インフレ圧力の低下や不透明な経済情勢に伴い、利下げ局面が長期化するとの見方などから、国債利回りは低下。レアルは対米ドル、対円ともに上昇。	金融政策決定会合が開催予定。市場では0.5%の利下げが予想されており、同結果や同日発表されるインフレ統計の内容などが国債利回りの変動要因に。レアルは財政健全化への期待が下支え要因に。
	Ba2	金利横ばい	金利横ばい	景気回復	利下げ局面		
南アフリカ 	BBB	8.17% (▲0.13)	8.50円 (▲0.34%)	+0.7% 2016年3Q	7.00%	PMIは4カ月連続で分岐点の50を上回る結果。主要国の国債利回り低下を受けて、国債利回りは低下。ランドは対米ドル、対円ともに下落。	ズマ大統領は政権与党の設立記念会合で党内の結束を呼びかけた一方、同氏の元妻ドラミニ・ズマ氏の同党内での支持拡大が報道されるなど、次期大統領選を巡る動向も。同国の先行き不透明感から上値の重い展開を予想。
	Baa2	金利横ばい	金利低下	景気鈍化	利上げ局面		
インドネシア 	BB+	7.43% (▲0.15)	0.88円 (+0.81%)	+5.0% 2016年3Q	4.75%	製造業PMIは前月から低下。インフレの伸び率は食品価格の上昇圧力後退で鈍化。中銀副総裁が金融政策の緩和余地があると言及したこともあり、国債利回りは低下。ルピアは対円の上昇。	インフレ率が中銀目標の下限近辺で推移する中、中旬に開催される金融政策決定会合での追加利下げの有無が注目される。追加利下げが意識される中、国債利回りは低下しやすい地合いを予想。
	Baa3	金利低下	金利横ばい	景気安定	利下げ局面		
インド 	BBB-	6.45% (▲0.12)	1.72円 (▲0.17%)	+7.3% 2016年3Q	6.25%	政府発表の2016年度実質GDP（国内総生産）予想では、7%を上回る高水準を維持する見通し。主要国の国債利回り低下を受けて、国債利回りは低下。インドルピーは対米ドル、対円ともに下落。	インフレ統計や鉱工業生産などの発表を予定。中銀は足元の物価上昇に懸念を示しており、インフレ動向に注目。また、地方議会選挙など新たな注目材料も多く、市場は方向感に欠ける展開を予想。
	Baa3	金利横ばい	金利横ばい	景気回復	利下げ局面		

(出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成)

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示（ブラジル：4年、南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。※政策金利については、ブラジル：Selicレート、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

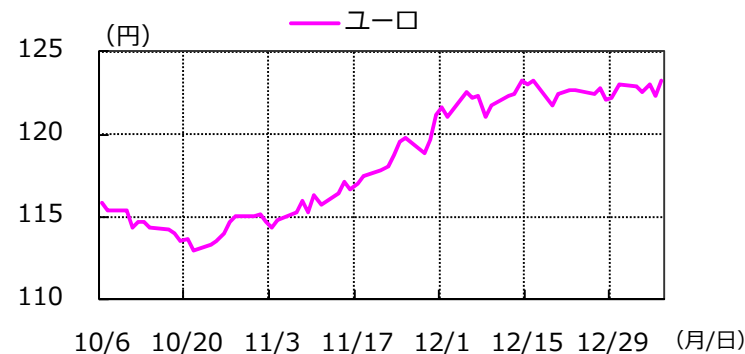
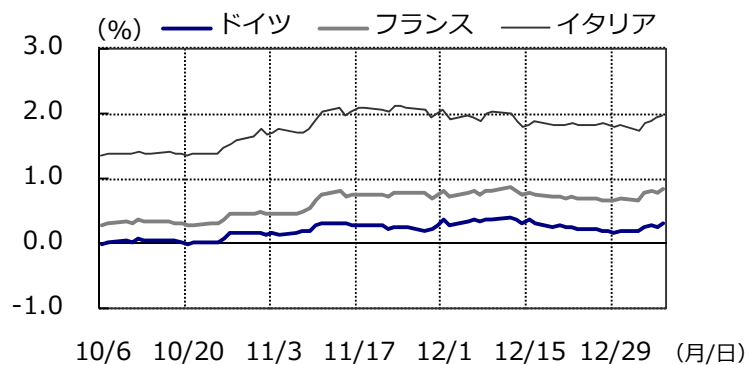
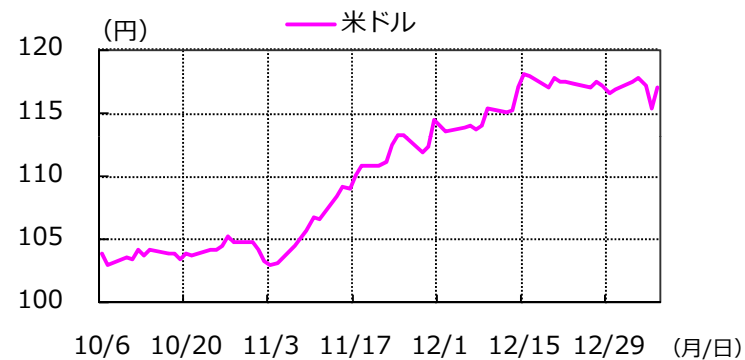
国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/6 (12/30との比較) 今後の見通し (※4)	1/6 (12/30との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3)	先週末		
メキシコ 	A	7.40% (+0.22)	5.51円 (▲2.32%)	+2.0% 2016年3Q	5.75%	中銀は為替介入を実施。しかし、米大手自動車企業が米国の新政権の通商政策を巡って、同国を敬遠する動きを相次いで見せたことが重しとなり、国債利回りは上昇。メキシコペソは対米ドル、対円ともに下落。	足元のインフレ率は加速しており、中銀による追加措置に注目。またトランプ次期米大統領が記者会見を実施するため、発言内容に注目。米国の通商政策の先行き不透明感からボラティリティの高い展開を予想。
	A3	 金利横ばい	 景気回復	 利上げ局面			
トルコ 	BB+	11.22% (+0.01)	32.26円 (▲3.60%)	-1.8% 2016年3Q	8.00%	インフレ率が市場予想を上回ったことから、インフレ圧力に伴う追加利上げ観測が高まり、国債利回りは小幅上昇。リラは対米ドル、対円ともに下落。	経常収支などの発表を予定。同国では非常事態宣言が再度延長されるなど、国内情勢は不安定な状況が継続。債券・為替市場ともに引き続き上値の重い展開を予想。
	Ba1	 金利上昇	 景気安定	 利上げ局面			
中国 	AA-	3.93% (+0.14)	16.84円 (+0.19%)	+6.7% 2016年3Q	4.35%	製造業PMIは政府発表分・民間発表分とも、50を超える水準を維持するも、外貨準備高は大幅に減少。香港市場の翌日物人民元貸出金利が急騰したことを受け、国債利回りは上昇。香港市場の人民元は対円で上昇。	マネーサプライやインフレ統計などの発表を予定。商品価格が回復する中、インフレ動向に注目。また、香港市場の人民元の短期資金市場の流動性が圧迫される中、香港市場における人民元調達コストにも注目。
	Aa3	 金利上昇	 景気鈍化	 据え置き局面			

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示（メキシコ：5年、トルコ：5年、中国（香港市場における中国国債の利回り）：10年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを表示。※為替レートについてはいずれもNY終値（中国の為替は、香港市場における人民元の為替レート）を表示。※政策金利については、メキシコ：翌日物金利、トルコ：1週間物レポレート、中国：1年物貸出金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/10/6～2017/1/6



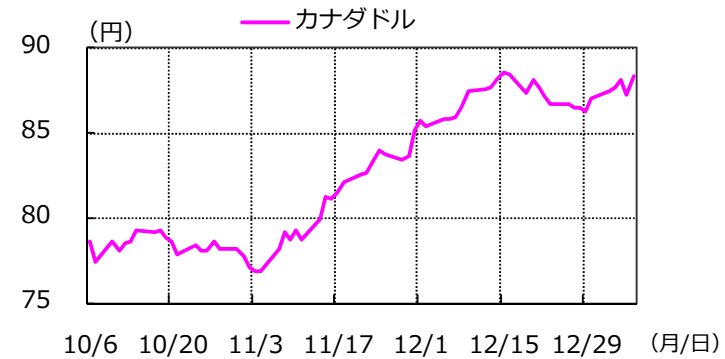
※10年国債利回りを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

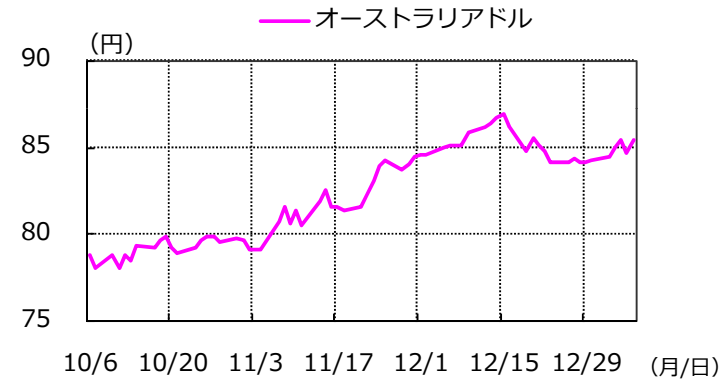
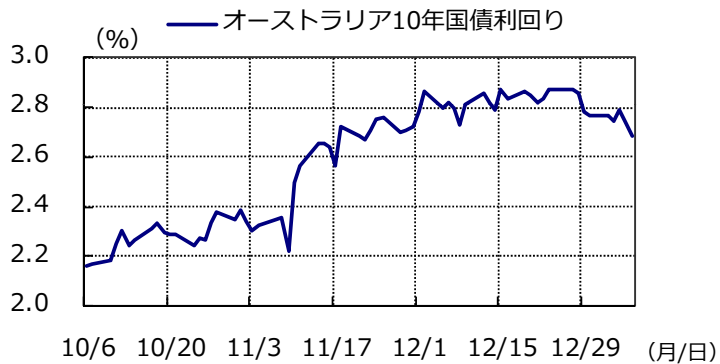
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/10/6～2017/1/6

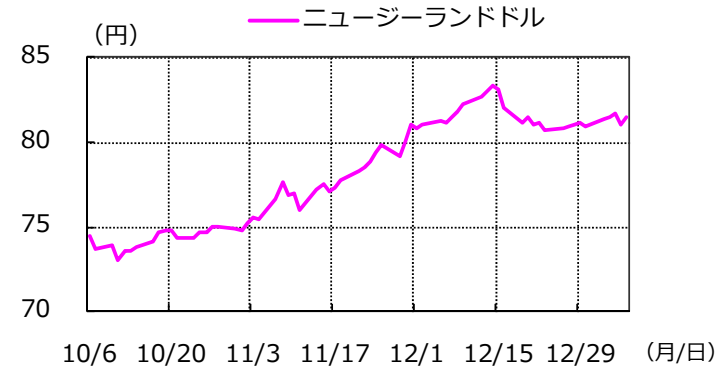
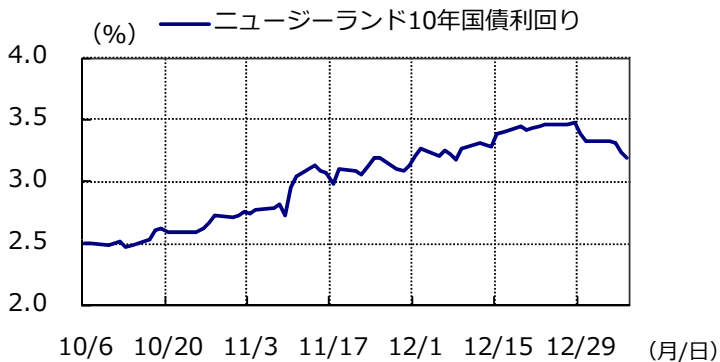
カナダ



オーストラリア



ニュージーランド

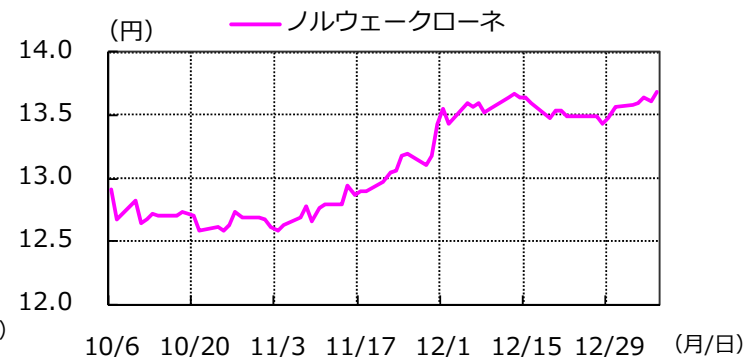


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

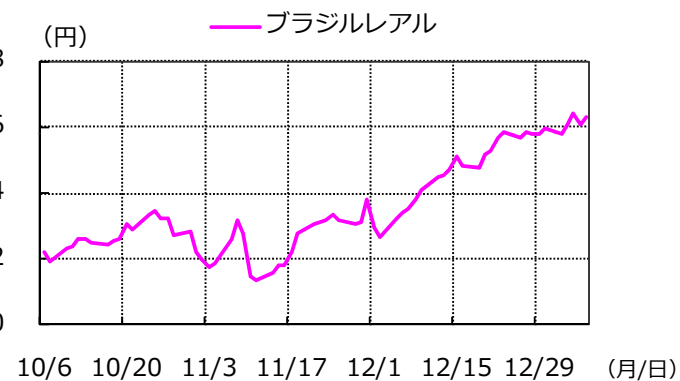
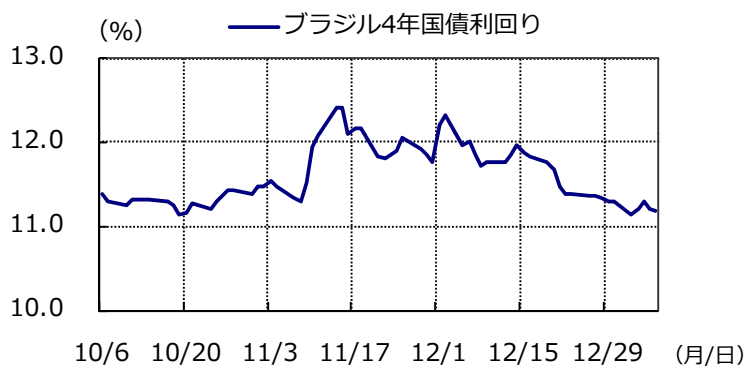
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/10/6～2017/1/6

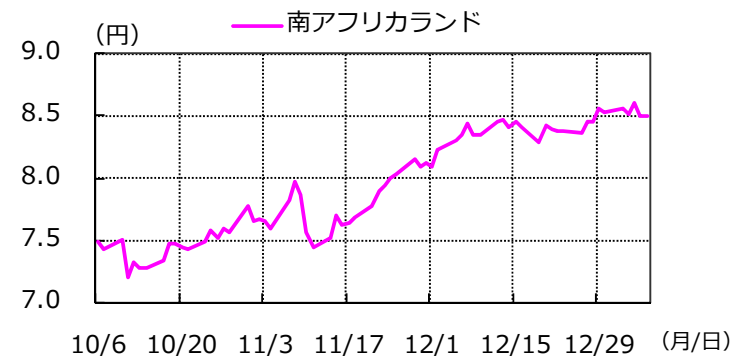
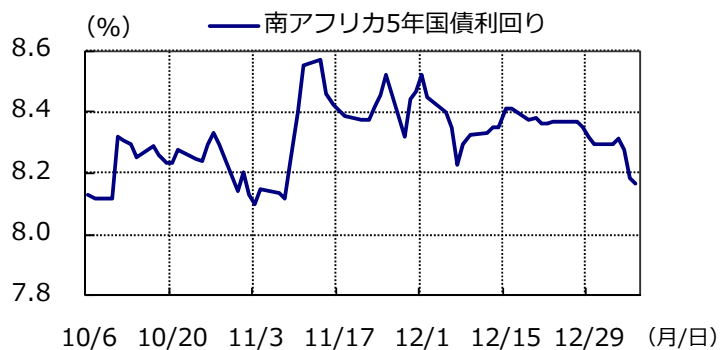
ノルウェー



ブラジル



南アフリカ

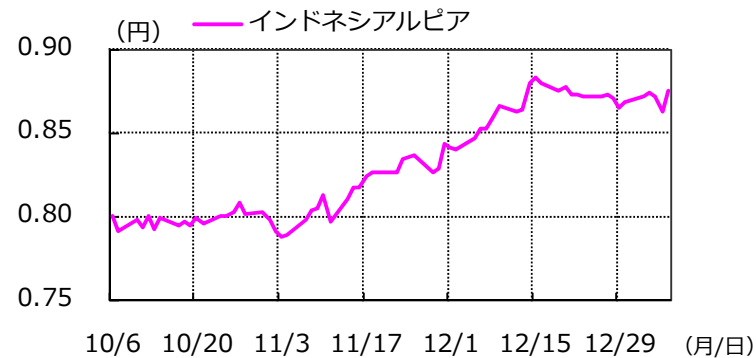
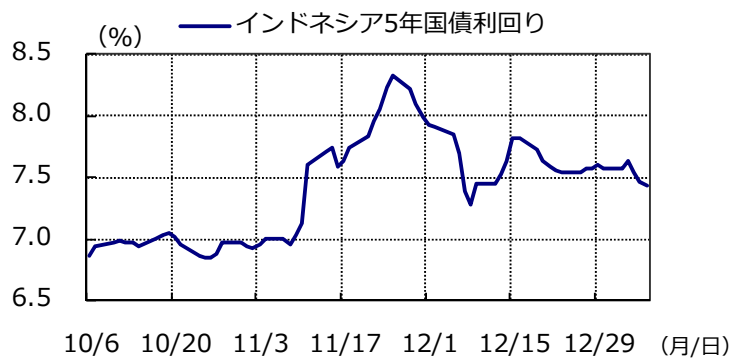


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

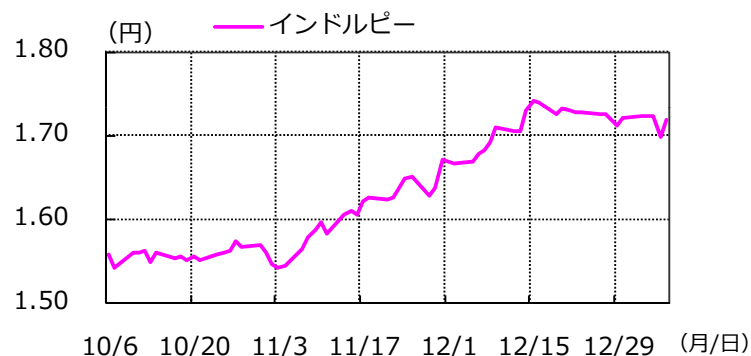
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/10/6～2017/1/6

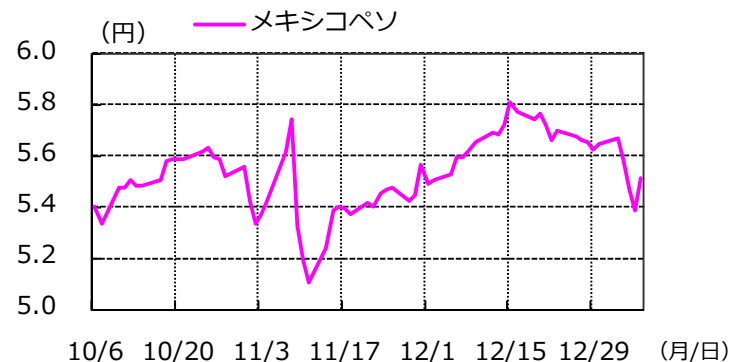
インドネシア



インド



メキシコ

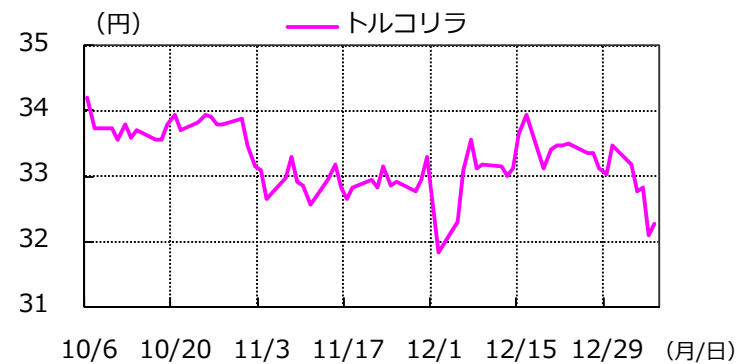


※インドネシアアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

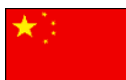
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/10/6～2017/1/6

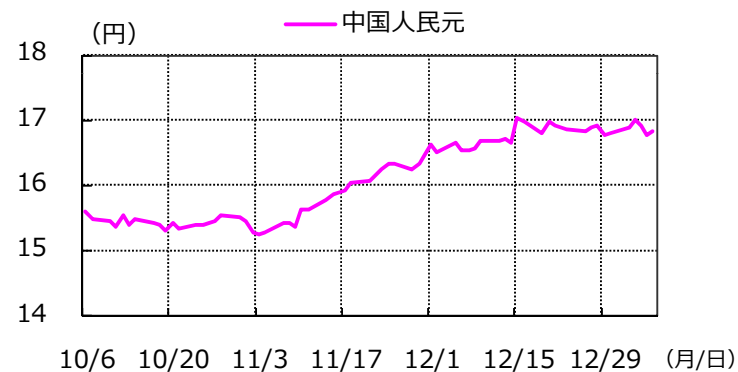
トルコ



中国



※香港市場における中国国債の利回りを表示。



※香港市場における人民元の為替レートを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。